



日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。さて、7月に実施いたしましたアンケートにご回答いただき、ありがとうございました。ほぼ同じ時期に実施しました児童アンケートの結果や学校職員による評価と併せて、アンケートの結果をご報告いたします。この結果を、今後、子どもたちの育成に生かしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。



1. 令和元年度前期学校評価結果とその分析と今後の取組

	対象	質問	評価	分析と今後の取組
確かな学力	保護者	授業は、よく分かりますか。	A	教職員は計画的に準備し授業をしている一方、ABCDの4段階評価のうち、A評価とする児童は約半数、AB合わせて約91%でした。2学期は、課題の吟味や、児童の思考が途切れないような授業になるように、発問等の質の向上を学校全体で取り組み、「どの児童もよくわかる」授業を一層目指します。
	児童	聴く人を見て、最後まで大きな声で話していますか。	B	教職員も児童もA評価の割合はあまり高くありませんでした。2学期は、全員に発言の機会を保障して、「聴き手を見て話す」「最後まで全員に聞こえる声で話す」を全教職員で取り組んでいきます。
	児童	児童は結論を述べた後、根拠をもとに理由を説明していますか。	B	話型の定着は、まだ不十分であると思われます。2学期は、話型の指導を再度確認し、ワークシート等を活用しながら、どの児童も使えるようにしていきます。併せて授業の中で、話型が活用できる機会を一層設定していきます。
	児童	児童は、「わかりました」「もう一度言ってください」「質問があります」等、大きな声ですばやく反応していますか。	B	肯定的評価の割合は高いですが、A評価は少ないです。2学期は、「聴く人を見て…」の指導と合わせて、発言の際には「聴き手」と「話し手」がお互いに意識できるように、また、自然な反応を返せるように指導していきます。
	児童	1時間の授業の確認とまとめで、全員が挙手していますか。	A	A評価が少なく、まだ十分に全員挙手の場面が徹底されているとはいえないと思われます。2学期は、「蝶屋授業モデル」を全教職員で確認し、毎時間、全員挙手の場面をつくるようにしていきます。
	児童	学習用語を使って、その学習のまとめを書いていますか。	A	肯定的な評価の割合が高く、まとめをきちんと書く習慣がついていると思われます。2学期も継続的に指導を行うとともに、発達段階を考慮した上で、まとめの書かせ方(穴埋め式、キーワードを使い自分の言葉で等)を工夫して、実践していきます。
	児童	児童に考えを持たせる手立てや交流するための手立てをとっていますか。	A	教職員の肯定的評価は100%でした。しかし、児童の結果と合わせて考えると、根拠・理由を持たない児童が若干名いることがわかりました。2学期も引き続き「一人一人に考えを持たせるための工夫」を全教職員で考え、実践していきます。
	児童	児童は、間違いについて理解して直していますか。	A	教職員の肯定的評価は100%でしたが、Bの割合が若干高い結果となっています。2学期も学力保障のために、引き続き、間違いについてきちんと理解させた上で直す指導を継続していきます。
	児童	単元テストが平均90点以上とれていますか。	C	「平均90点以上」と回答した教職員の割合は低く、基礎学力の向上と定着が課題です。2学期は、児童がつけた力を発揮できるように、プレテスト等で学習内容を確認し、確実に解けるように事前指導に取り組みます。また、再テスト等の実施で学力の保障の徹底を図ります。
	児童	児童は宿題をしていますか。	A	肯定的評価の割合は高く、ほとんどの児童は宿題をする習慣はついていると思われます。2学期も計画的に宿題を出し、学力の保障を図ります。また、習慣がついていない児童には、保護者の協力を仰ぎ、個別指導も行っています。
保護者	お子さんに家庭学習の時間をとっていますか。	C	ほとんどの保護者が「お子さんに家庭学習の時間をとっている」と回答しています。しかし、一方では、保護者が宿題をお子さん任せにしている現状も見られます。2学期もスクールフォーラム、懇談、通信等で家庭への啓発を引き続き図っていきます。	
豊かな心	保護者	友だちに対して、やさしく話したり、行動していますか。	A	教職員も児童も肯定的評価の割合が高いですが、B評価の割合が高い結果となっています。2学期も教職員が児童の頑張りや良さを認め、一人一人を褒めて育てる指導をしていきます。また、キラリさんコーナーなど児童同士がお互いに認め合える場を大切にしていきます。
	児童	見守り隊の方やお客さまや先生、友だちに進んで元気なあいさつをしていますか。	A	肯定的な評価は高いですが、児童のA評価が高く教職員のA評価が低い結果でした。相手に気持ちの伝わる挨拶が十分にできていない場合があると思われます。2学期は、気持ちが相手に伝わるように相手の目を見て挨拶できるように一層指導、声かけをしていきます。
	児童	児童は、あたたかい言葉づかいをしていますか。	A	肯定的な評価は高いですが、A評価の割合が低く、B評価の割合が高くなっています。児童は、場に応じた言葉の使い分けが十分にできていない場合があると思われます。2学期は、場に応じた言葉のよさを味わわせて、気持ちのこもったあたたかい言葉づかいができるように一層指導をしていきます。
	児童	児童は必要のないことは話さずに掃除をしていますか。	A	肯定的な評価はB評価のみで、C評価も見られます。掃除の際に必要なことは話さないというきまりが十分に徹底されていないように思われます。2学期は、掃除の反省会を通してふりかえりながら指導の徹底を図ります。
	児童	児童は廊下歩行をしていますか。	C	否定的な評価が高く、授業中に静かに移動できていない場合があると云えます。授業中の移動の仕方について、共通理解を図り、必要に応じて並んで移動をするなどの指導をしていきます。
	児童	児童は机・椅子を整頓し、机の上に物を置かずに、教室を移動したり下校していますか。	A	肯定的評価のうち、A評価よりB評価の割合が高いことから、意識づけはされているものの、きっちりでできているとまでは、まだいえない状況です。声かけをしたり、気持ちよさを味わせたりして、机・椅子、机上の整理整頓の指導の徹底と継続を図ります。
健やかな体	児童	児童はズックをそろえて奥まで入れたり、かさを巻いて整えて入れていますか。	A	肯定的な評価は100%ですが、B評価の割合が高い結果となっています。状況を見てほめることを通して、ズックをそろえること、傘を巻いて傘立てに入れることを、更に意識づけをしながら指導していきます。
	児童	体育の授業では、素早く駆け足で集合させて、30分以上の運動量を確保していますか。	A	肯定的な評価の割合は高く、ほとんどの児童はすばやく駆け足で集合する習慣がついていると思われます。今後もすばやく駆け足で集合させることを継続して行い、30分以上の運動量が確保できるようにタイムマネジメントを意識していきます。
	児童	感謝して給食を残さず食べるようにしていますか。	A	肯定的な評価は高いですが、給食を残す児童もまだいる現状が見られます。日々の給食指導で、意欲づけに努めるとともに、栄養職員や給食委員会と協力し、給食時間が楽しくなるように取り組んでいきます。
	児童	みんなを笑顔にするためにどうしたらよいかを考えて、係や実行委員、委員会の仕事をしていますか。	A	教職員の肯定的評価は100%でしたが、否定的な評価をしている児童がいました。みんなのために行動できた時に、教職員が全体や個々に評価することで自己肯定感を高め、これからもみんなのために行動しようとする意識を高めるように指導していきます。
児童	役立っていることを称える場を、どの児童に対してもとっていますか。	A	教職員の肯定的評価は100%でしたが、A評価とB評価の割合が同じという結果でした。終わりの会などで「今日のがんばりマン」「今日のきりりさん」など児童同士が褒め合う場を設定したり、教師がどの子どももほめられるような場面を設定したりし、今後も取組を継続していきます。	

2. 学校関係者評価員会での主なご意見

- 蝶屋小学校の子どもたちは、元気なあいさつができます。今後もこの元気なあいさつができるようにしていって下さい。
- 地域にはいろいろな形で学校に協力できる人がいます。「町の先生」など地域のボランティアを一層活用して下さい。
- 廊下を走ることは、子ども同士のけがや授業の迷惑にもつながることなので、より指導の徹底をお願いします。
- 子どもたちのインターネットに接続できる端末の所持状況やSNS等の使用状況、いじめにつながるようなトラブルについて心配です。いじめが起らないように育成会と協力して気をつけてほしいです。
- 教職員の多忙化が改善されるとよいと思います。地域や保護者の方と協力して、工夫して改善していってほしいです。



訂正のお知らせ

9月2日付の「全国学力・学習状況調査及び県基礎学力調査結果の報告」で誤りがありましたので、以下のように訂正してお知らせします。

6年石川県基礎学力調査「社会科」 … 「県平均を下回っている」
 4年石川県基礎学力調査「国語科」 … 「県平均をやや上回っている」